建 設 業 景 況 調 査

岩　手　県　版

２０２３年度　第３回

（　2023年10月～12月　実　績
　2024年 1月～ 3月　見通し　）

2024年 1月

東 日 本 建 設 業 保 証 株 式 会 社
岩　手　支　店

目　　次

Ⅰ．建設業景況調査について

1．調査要領…… 1

2．B.S.I.およびグラフの見方について…… 2

3．今回調査の実施要領…… 3

Ⅱ．調査結果

1．概観…… 4

2．主要項目別の動向

(1) 業況等…… 5

(2) 受注…… 6

(3) 資金繰り…… 8

(4) 金融…… 10

(5) 資材…… 12

(6) 労務…… 13

(7) 収益…… 14

(8) 経営上の問題点…… 15

Ⅲ．調査票…… 16

Ⅰ．建設業景況調査について

1．調査要領

（1）調査の目的

岩手県の建設企業の経営動向の調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

（2）調査の時期

毎年3、6、9、12月

（3）調査項目

① 経営動向

地元建設業界の景気、受注、資金繰り、金融、資材、労務及び収益の状況

② 経営上の問題点

（4）調査対象

保証事業会社と取引関係にある建設企業のなかから、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。

なお、調査対象企業は原則として固定しています。

（5）集計方法

企業回答を単純集計

（6）調査方法

郵送によるアンケート調査

2. B.S.I.およびグラフの見方について

≪B.S.I.とは≫

景気の先行きをみる上で、企業経営者の意識調査を行うことがあります。この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設業者の意識調査を行ったものです。そして、この意識調査の結果を数値化して表したものが、B.S.I.(ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ｻｰﾍﾞｲ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ=景況判断指数)です。

本報告書では、棒と折れ線の混在ｸﾞﾗﾌで調査結果を表示しています(グラフ１)。

≪B.S.I.の求め方≫

集計結果から、以下の方法によりB.S.I.が求められます。

【回答企業構成比】

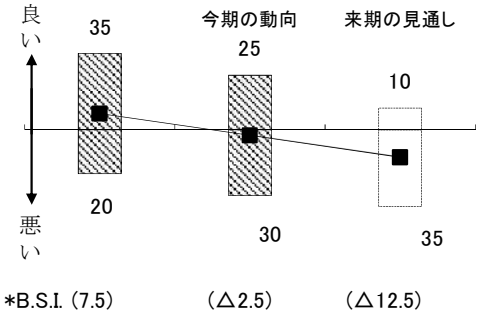
(景況調査集計)		(B.S.I.集計)	
良い	10%	良い	25%
やや良い	15%		
変らず	45%	変らず	45%
やや悪い	20%	悪い	30%
悪い	10%		
合計	100%	合計	100%

B.S.I.＝(「良い」と回答した企業割合-「悪い」と回答した企業割合)×1/2

＝ (25-30)×1/2

＝ △2.5

(グラフ１)



1.棒ｸﾞﾗﾌは、回答企業の構成比(%)を示す。
2.折れ線ｸﾞﾗﾌは、B.S.I.を示す。
3.*印を付しているB.S.I.は季節調整済であることを示す。

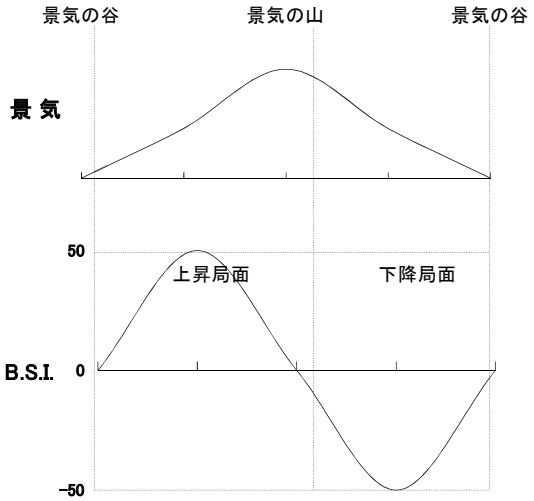
≪B.S.I.の見方≫

B.S.I.は「良い」「悪い」などの変化方向別回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。すべての企業が「良い」とみている場合、B.S.I.は50、逆は△50、すべてが「変らず」の場合は0となります。

(グラフ１)では、B.S.I.が7.5から△2.5になっています。これは、前期より景気が良い(景気は上昇局面にある)と判断している企業が多い状態から、前期より景気が悪い(景気は下降局面にある)と判断している企業が多い状態に変っていることを示しています。この上昇から下降への変わり目(0が基準)を景気の山といい、逆の場合を景気の谷といいます。

(グラフ２)は、その景気の山・谷とB.S.I.の動きの対応関係を示したものです。

(グラフ２)



≪季節調整済のB.S.I.について≫

「季節調整済」とは、季節調整法により、毎年繰り返される季節的な変動を取り除いていることを示します。例えば、百貨店の売上げは、社会的慣習である中元や歳暮のシーズンには前期比で大幅に伸びますが、この伸びは景気回復によるものなのか、あるいは、単に中元・歳暮という季節的な変動によるものなのか、よくわかりません。そこで、景気動向の趨勢をみるためには、この季節的変動を取り除く必要があります。このため、本調査では、このような季節的な変動をもった調査項目は、季節調整を行って表示しています。

3. 今回調査の実施要領

調査時期　　2023年12月

調査対象期間　　2023年10～12月　実　績

　　2024年 1～ 3月　見通し

調査対象企業　　66 社

有効回答企業　　64 社(有効回答率97.0%)

回答企業の内訳

業種 地区	土木工事業	建築工事業	土木建築工事業	設備工事業	計
盛岡	5	3	5	4	17 (26.6)
北部沿岸	8	1	3	3	15 (23.4)
県南	7	1	7	3	18 (28.1)
南部沿岸	3	1	6	4	14 (21.9)
計	23 (35.9)	6 (9.4)	21 (32.8)	14 (21.9)	64 (100.0)

＊( )内の数値は構成比率(%)

(注) ① 土　木　工　事　業：土木工事が完成工事高の8割以上を占めるもの
② 建　築　工　事　業：建築工事が完成工事高の8割以上を占めるもの
③ 土木建築工事業：土木工事及び建築工事の合計が完成工事高の8割以上を占めるもので、①、②以外のもの
④ 設　備　工　事　業：設備工事(電気工事・管工事)が完成工事高の8割以上を占めるもの

Ⅱ. 調査結果

概　観

今期	資材価格は上昇傾向が弱まっている
来期	地元建設業界の景気は悪い傾向が強まる見通し

【今期：前期（2023年 7～ 9月）に比べた今期（2023年10～12月）の状況】

【来期：今期（2023年10～12月）に比べた来期（2024年 1～ 3月）の状況】

項目		前期 B.S.I値	推移方向（前期比）	今期 B.S.I.値	推移方向（今期比）	来期 B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気	△ 23.5	↘	△ 25.0	↘	△ 30.0
(2)受注	受注総額	△ 20.5	↘	△ 23.5	↘	△ 27.5
	官公庁工事	△ 21.0	↘	△ 26.5	↘	△ 27.5
	民間工事	△ 16.0	↘	△ 19.5	↘	△ 23.0
(3)資金繰り	資金繰り	△ 9.5	↘	△ 11.0	↘	△ 14.5
(4)金融	銀行等貸出傾向	5.0	↘	2.0	↘	△ 2.0
	短期借入金	2.0	↗	4.5	↗	5.5
	短期借入金利	3.5	↗	4.5	↗	8.0
(5)資材	資材の調達	△ 7.5	↗	△ 4.0	↘	△ 5.0
	資材価格	34.0	↘	28.0	↗	30.0
(6)労務	建設労働者の確保	△ 19.5	↗	△ 18.0	↘	△ 19.5
	建設労働者の賃金	24.0	↘	23.5	→	23.5
(7)収益		△ 19.5	↘	△ 23.5	↘	△ 27.0

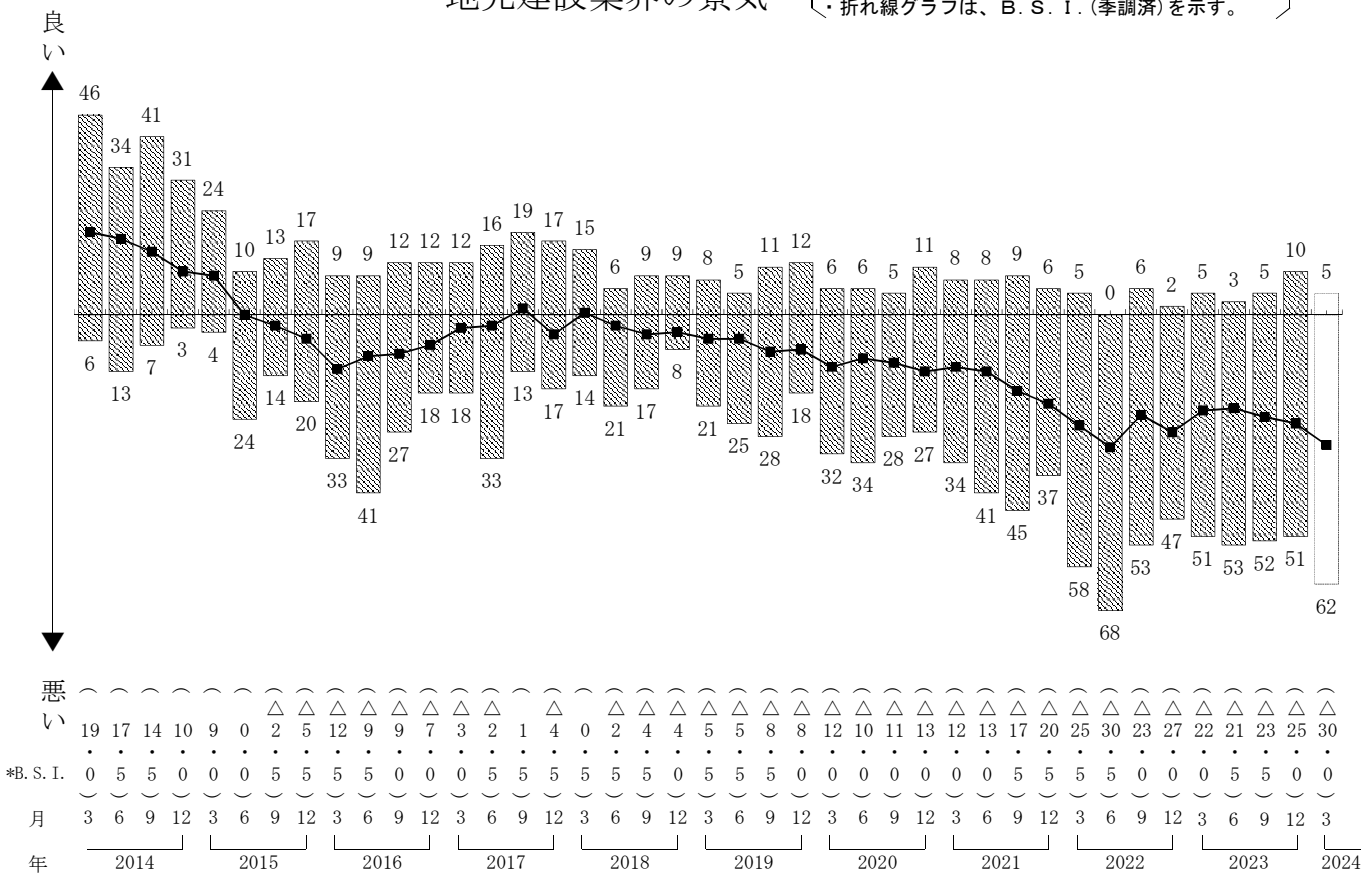
（注）B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降等の傾向を示す。
B.S.I.値は、季節調整により前回公表時と異なる場合がある。
〔詳細は、次頁以降「主要項目別の動向」をご覧下さい。〕

（１）業況等

岩手

地元建設業界の景気

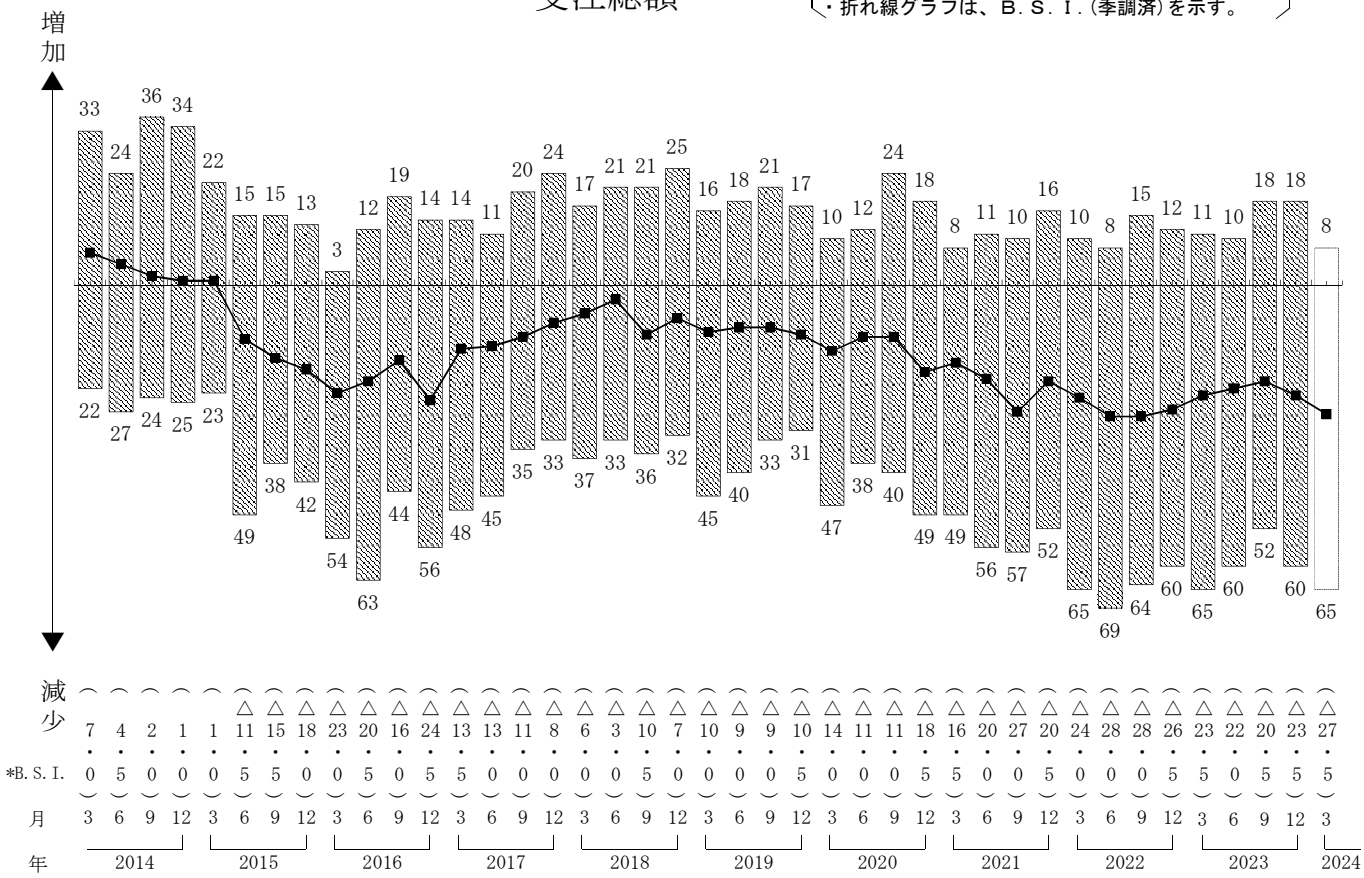
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．(季調済)を示す。



（２）受注

受注総額

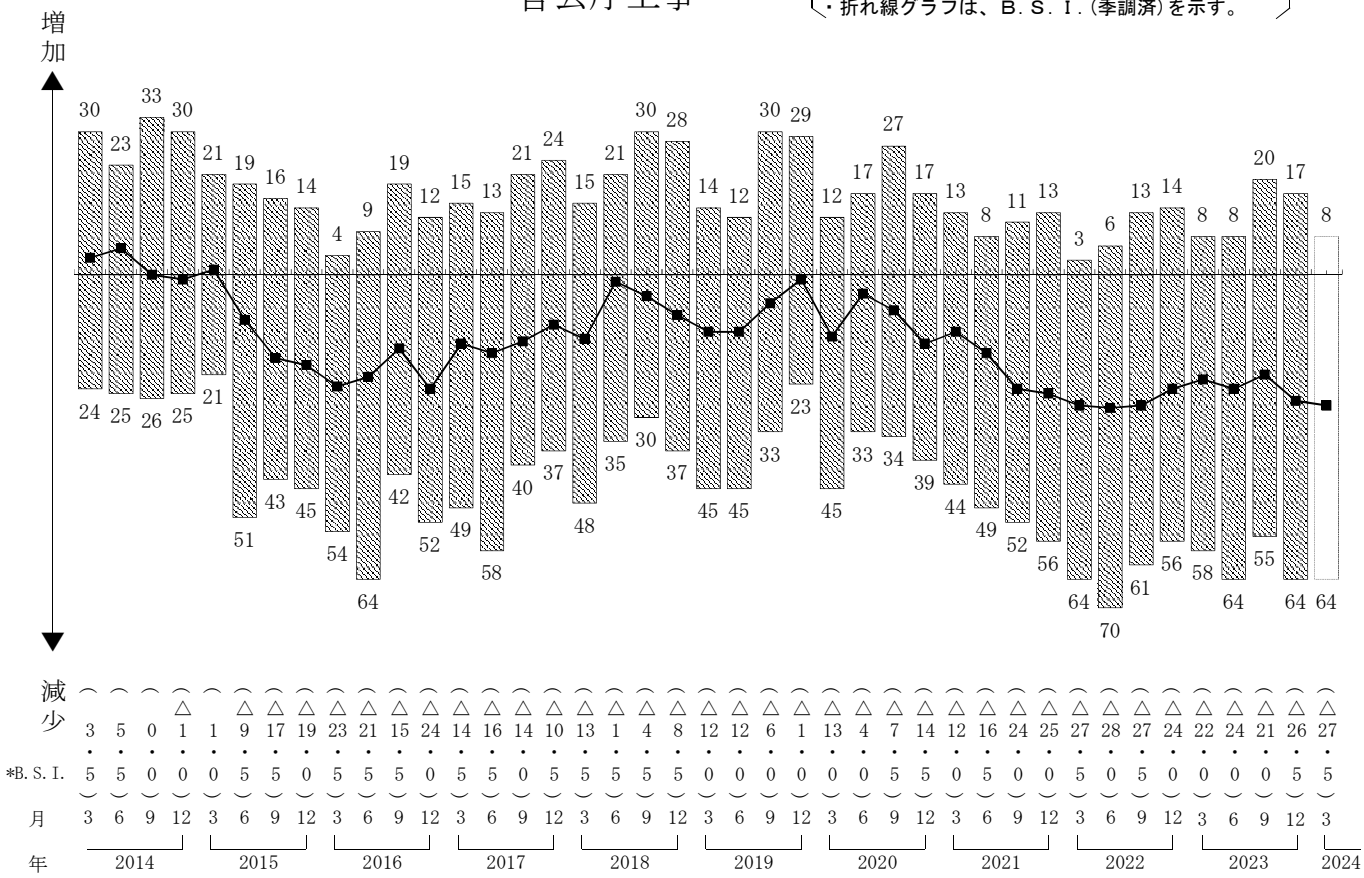
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．(季調済)を示す。



岩手

官公庁工事

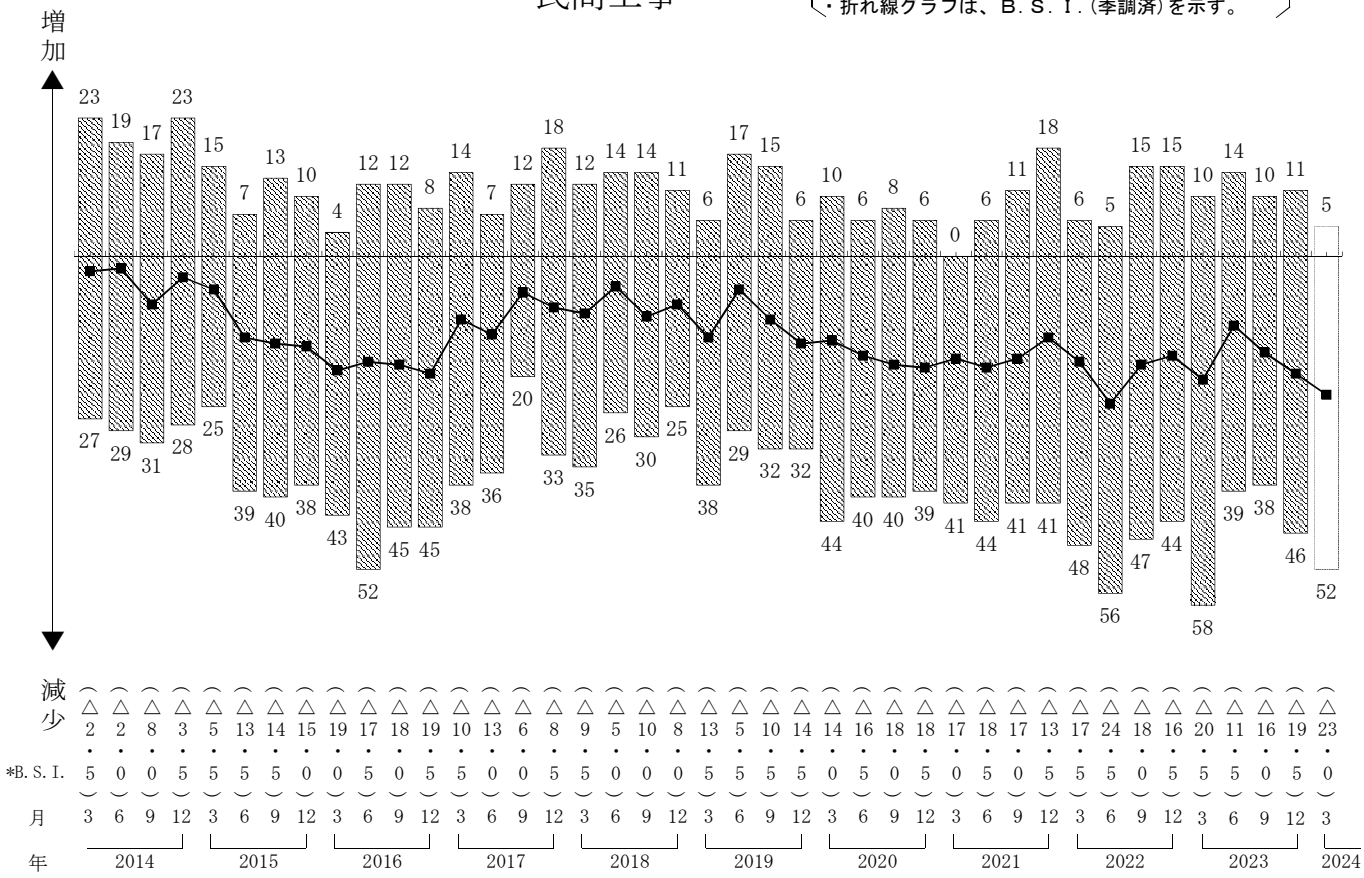
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。



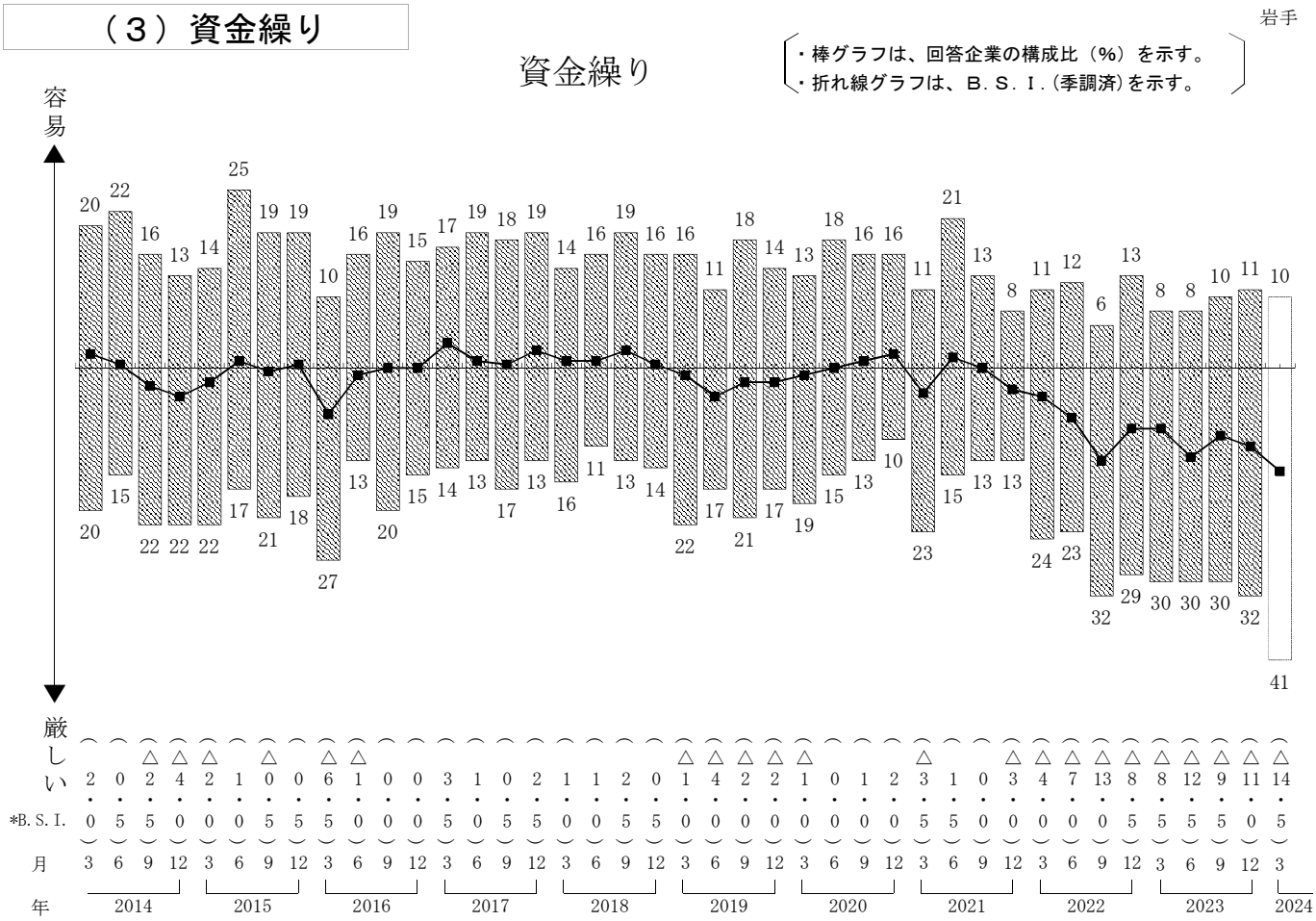
岩手

民間工事

・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。

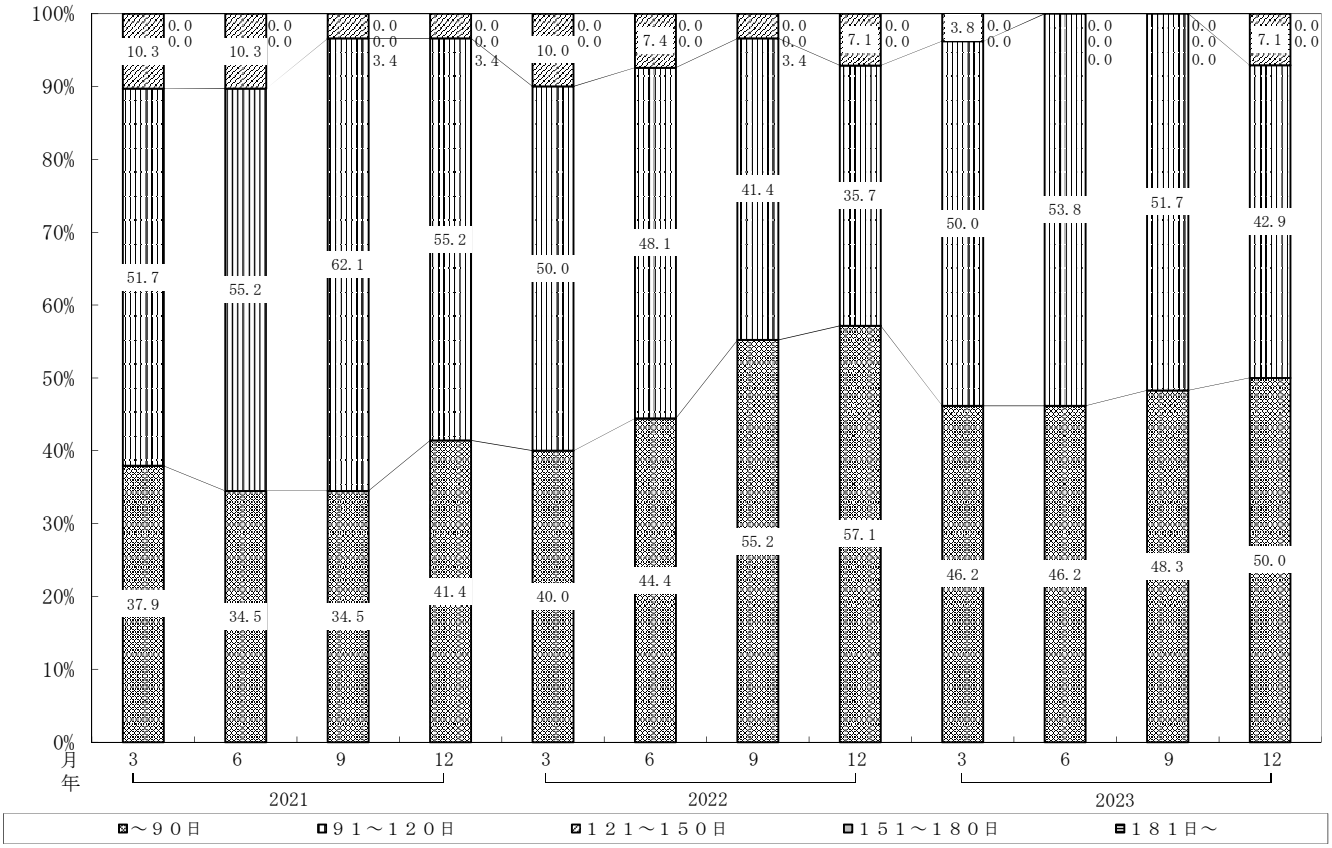


（３）資金繰り


資金繰り
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。
容易
厳しい
*B.S.I.
月
年
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024

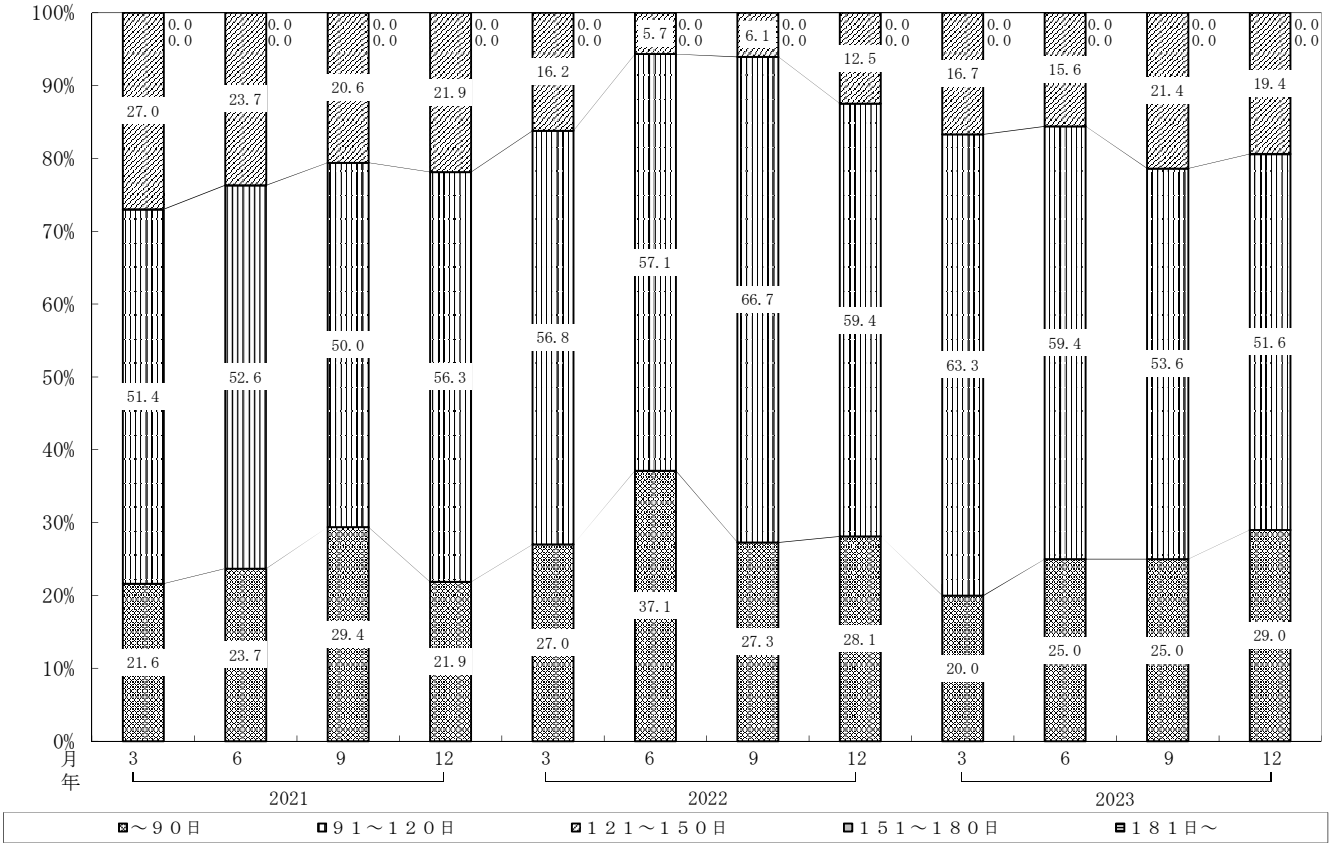
岩手

支払手形の平均サイト



岩手

受取手形の平均サイト

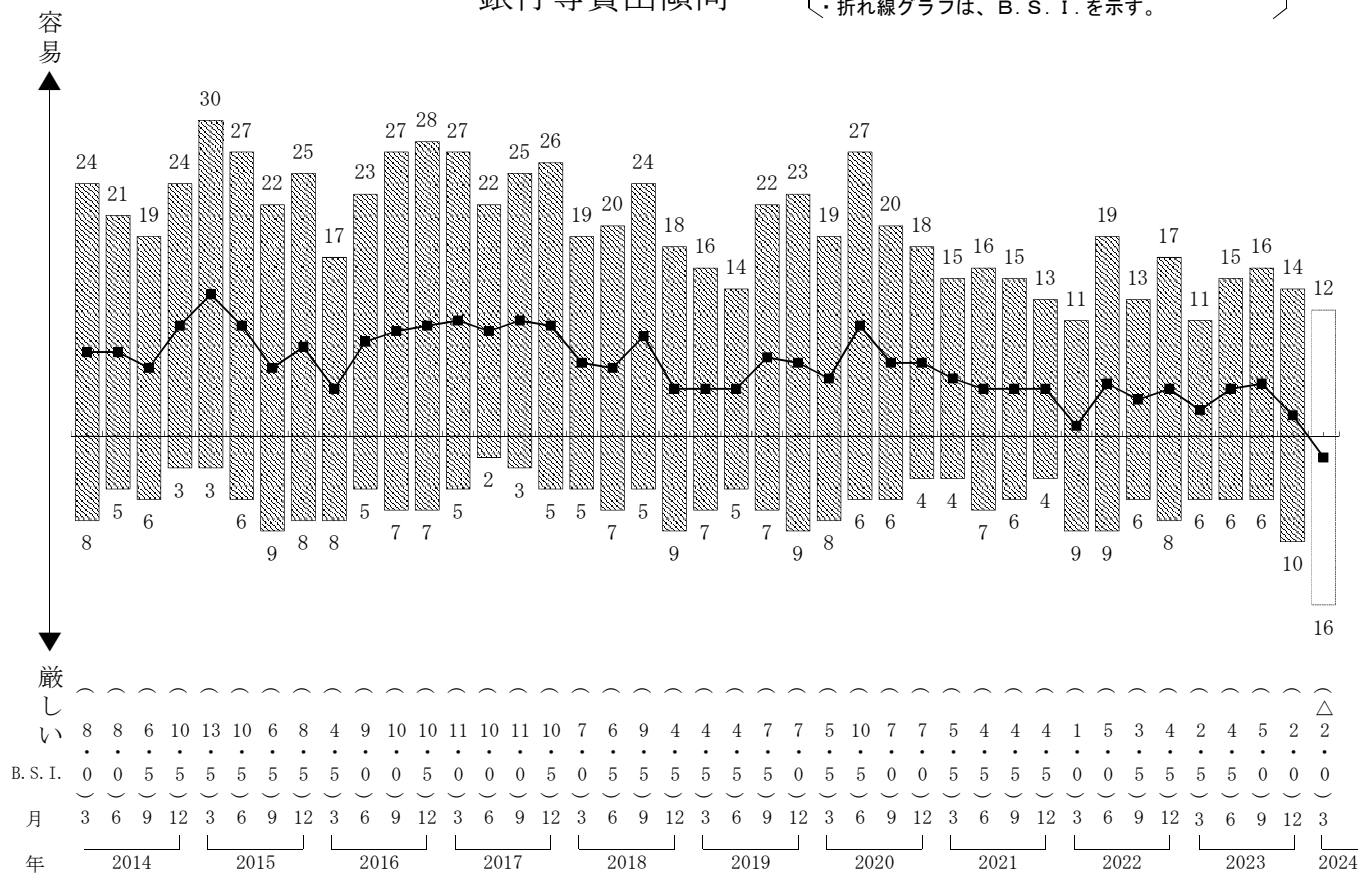


（４）金融

岩手

銀行等貸出傾向

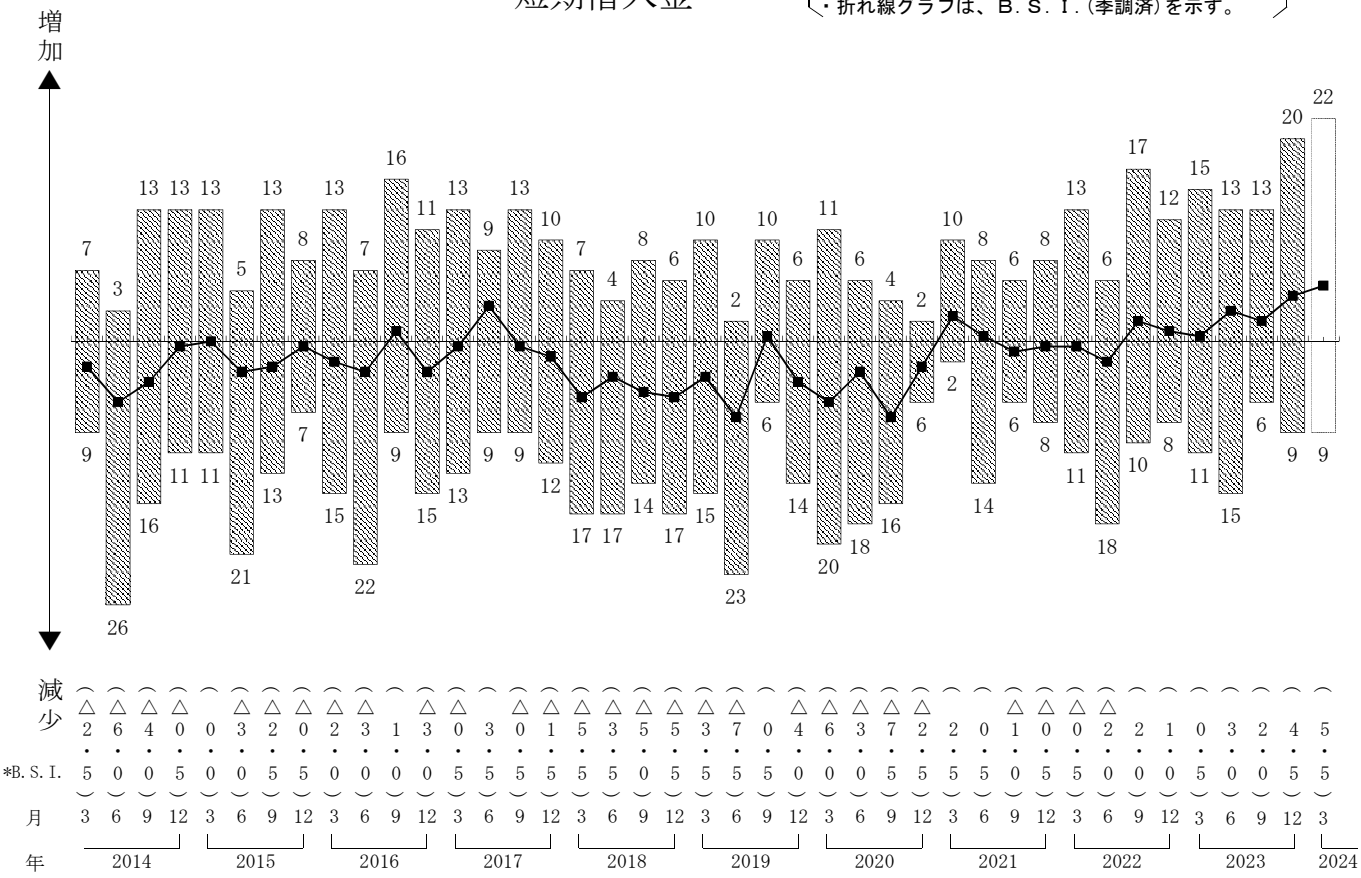
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．を示す。



岩手

短期借入金

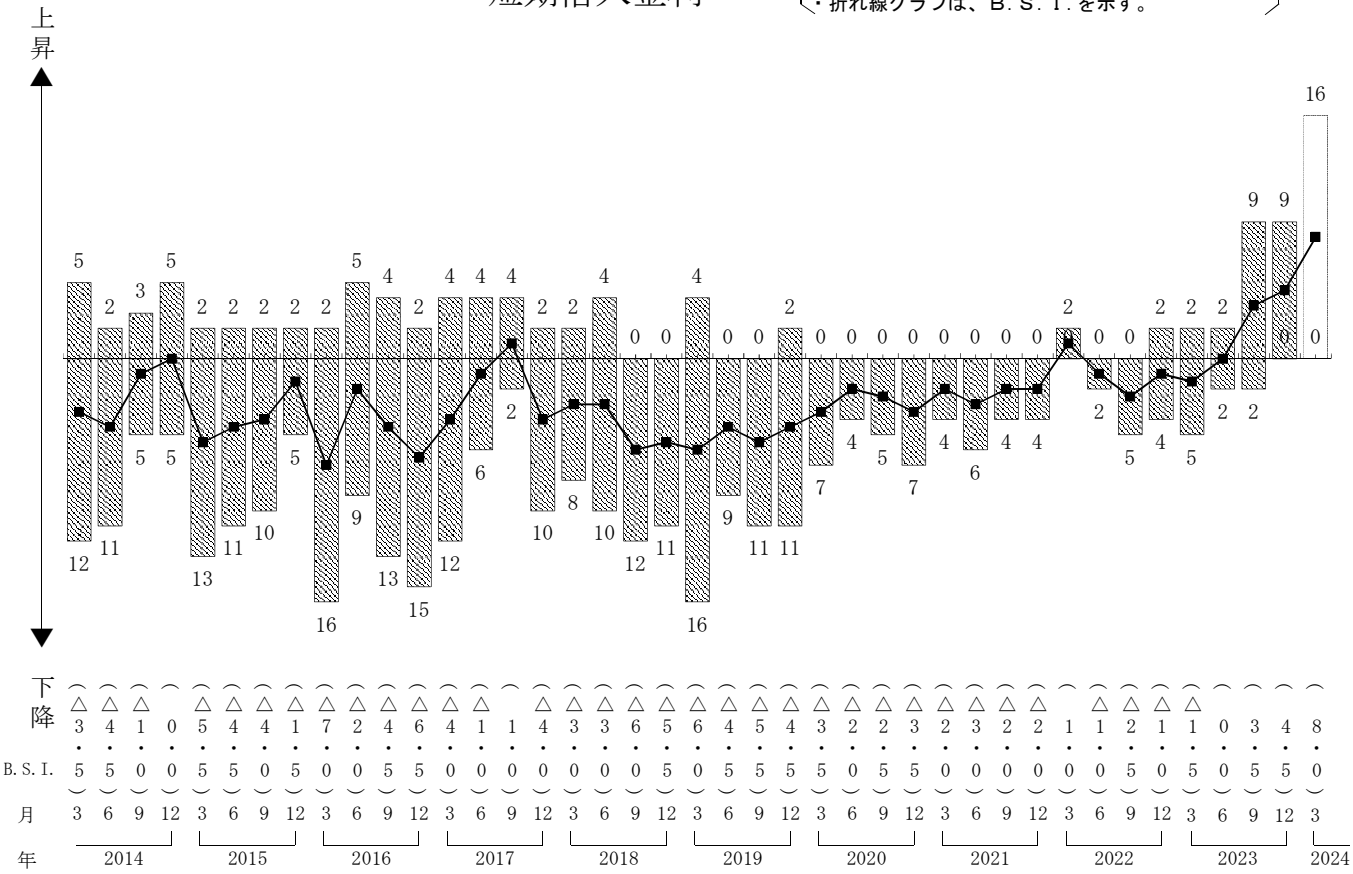
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。



岩手

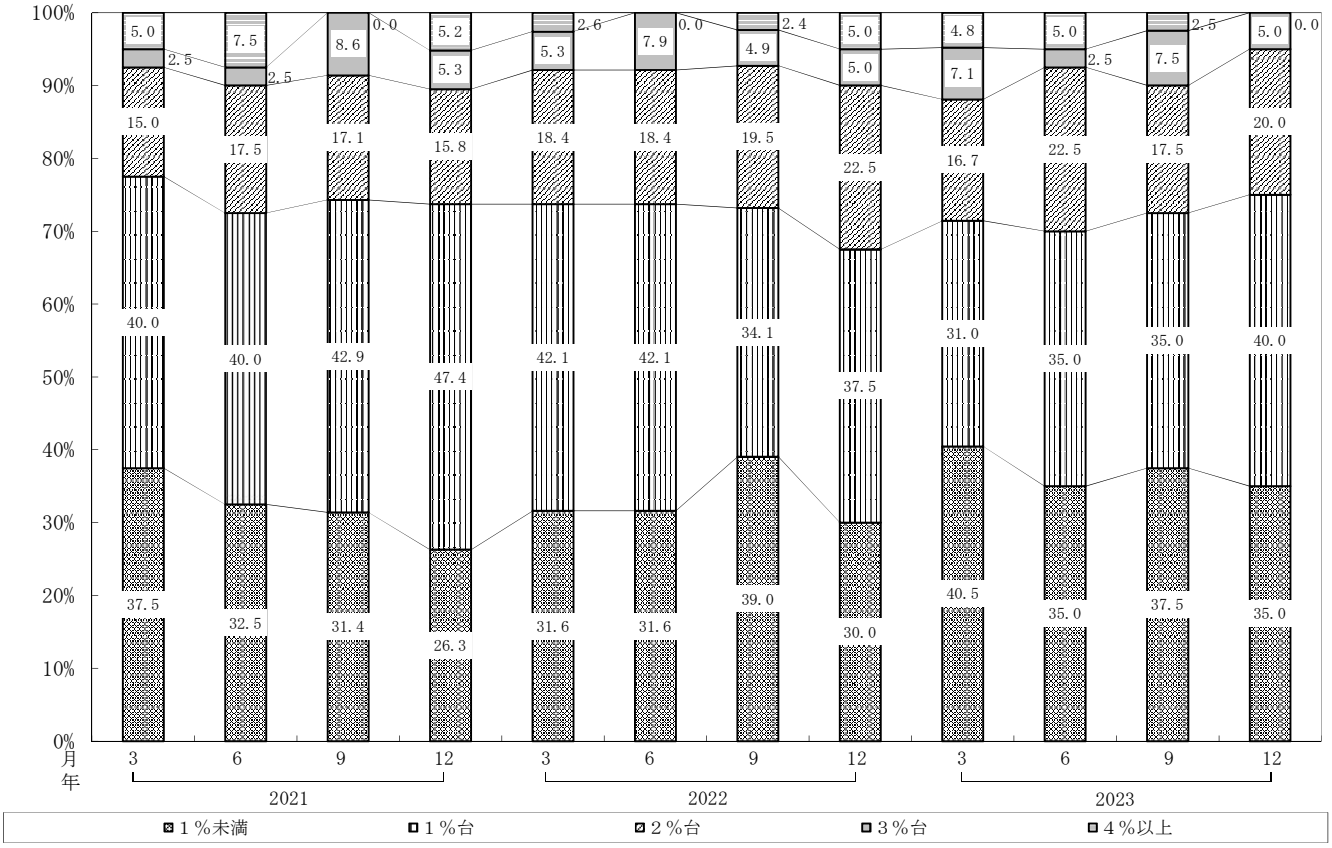
短期借入金利

・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．を示す。



岩手

短期借入金利の状況

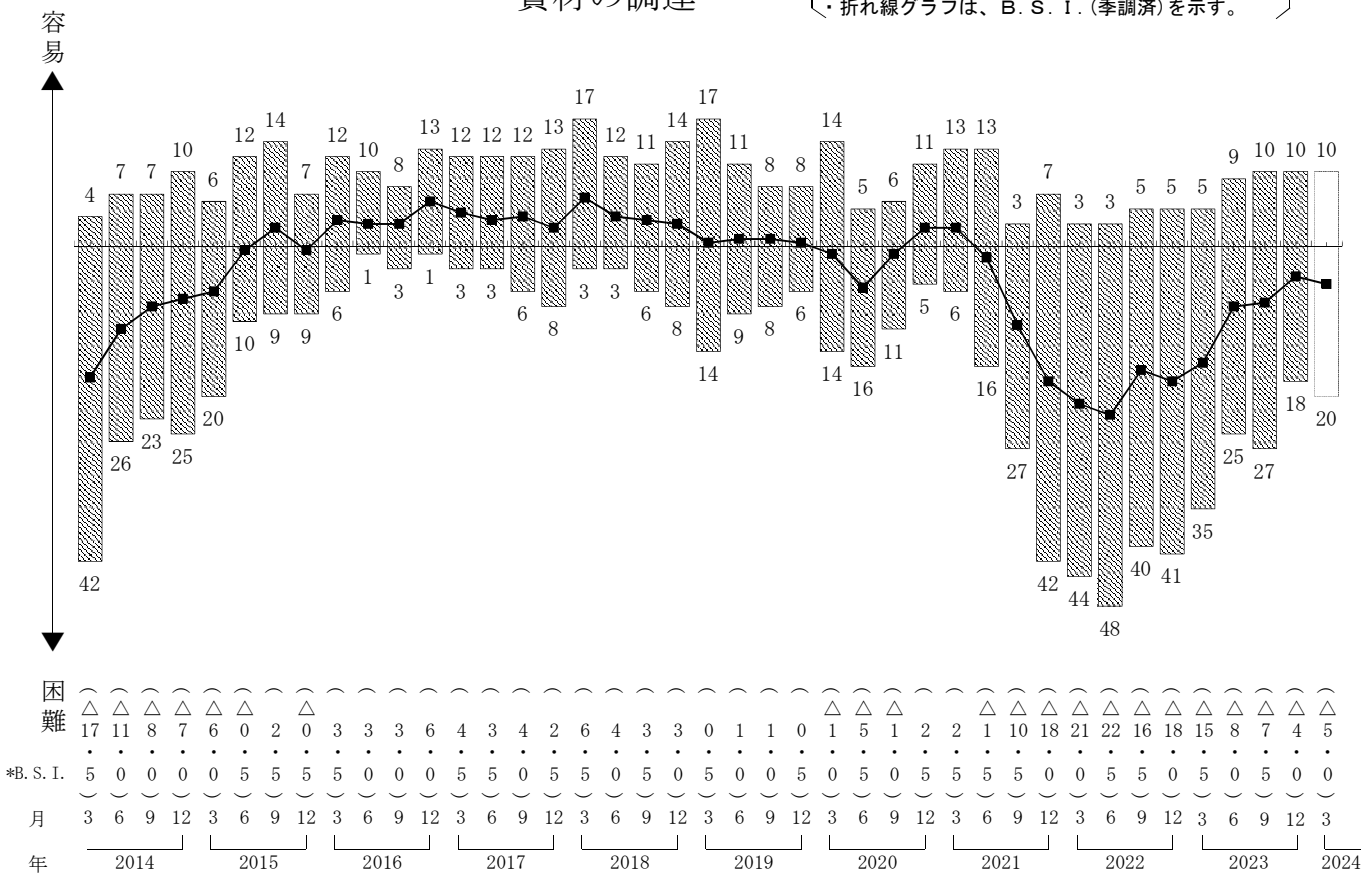


（５）資材

岩手

資材の調達

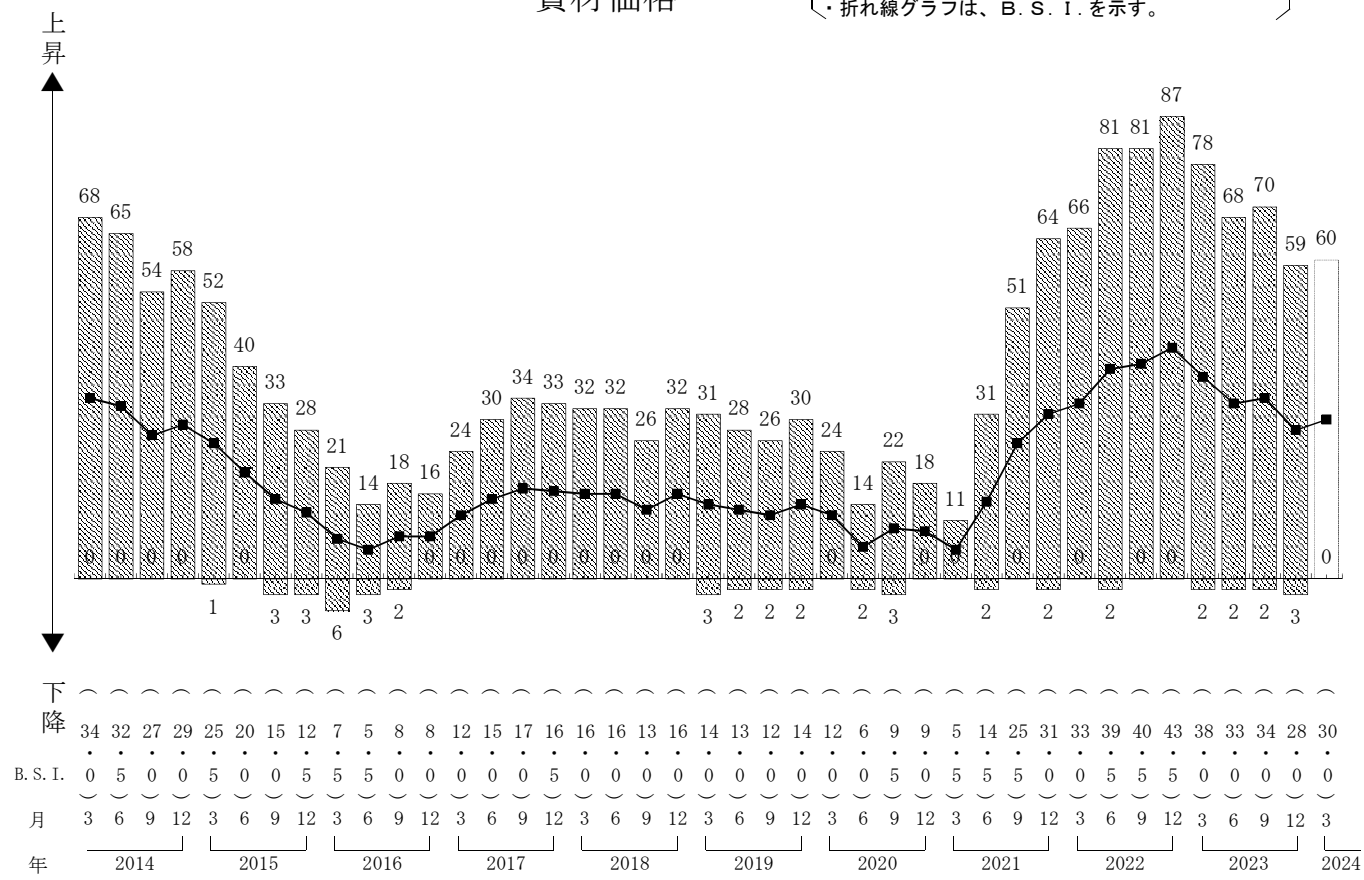
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．(季調済)を示す。



岩手

資材価格

・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．を示す。

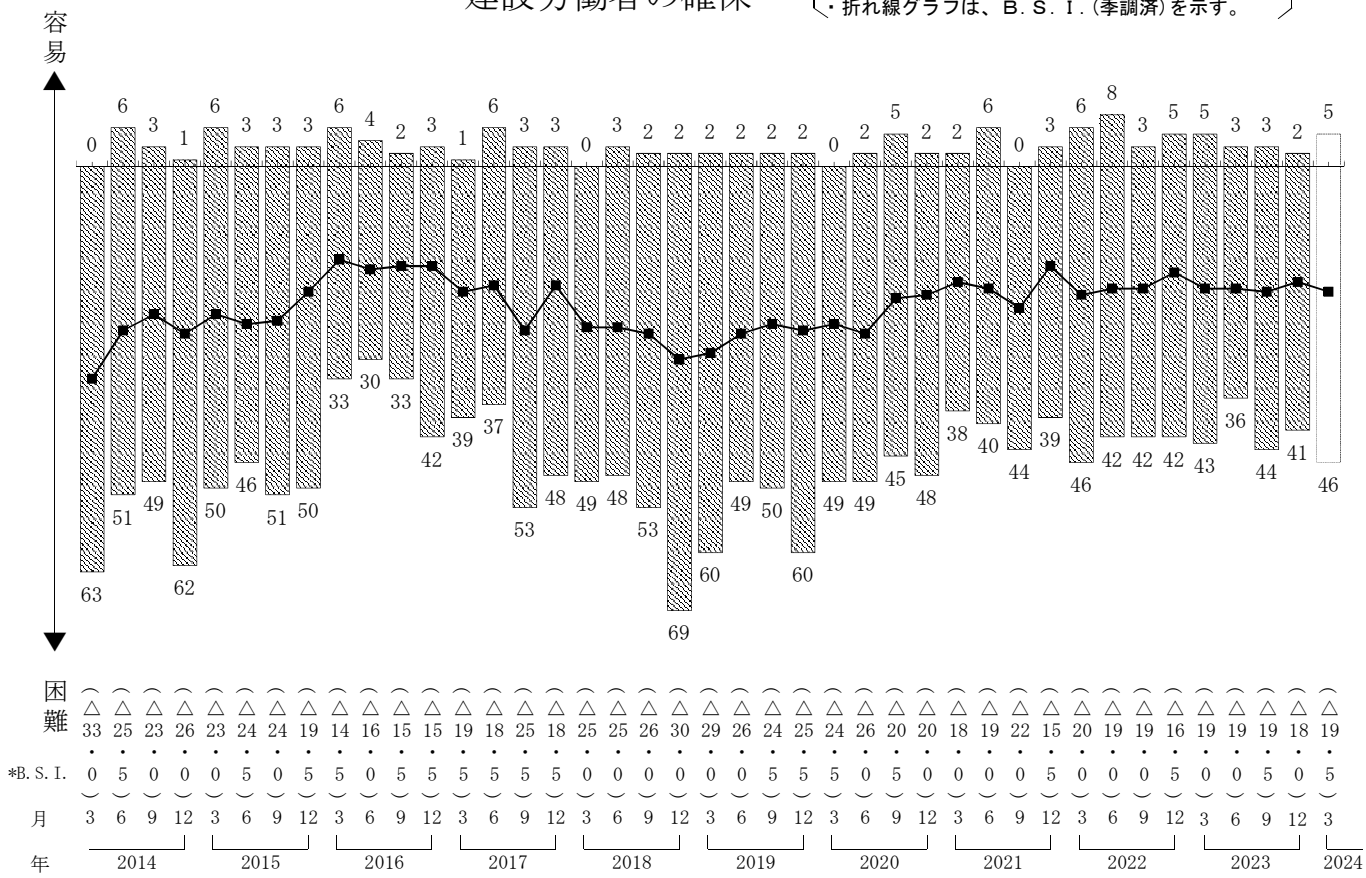


（６）労務

岩手

建設労働者の確保

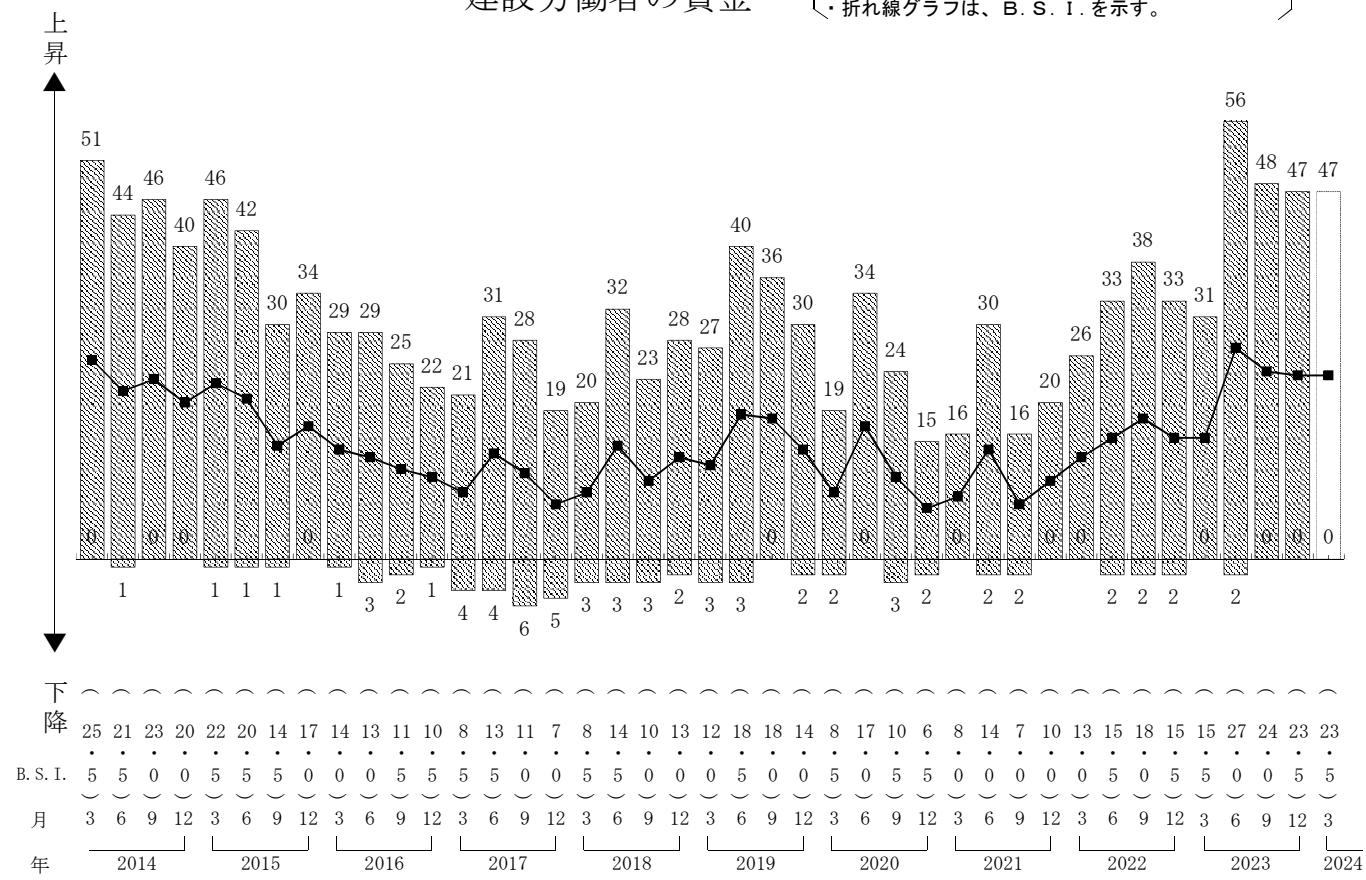
・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。



岩手

建設労働者の賃金

・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．を示す。

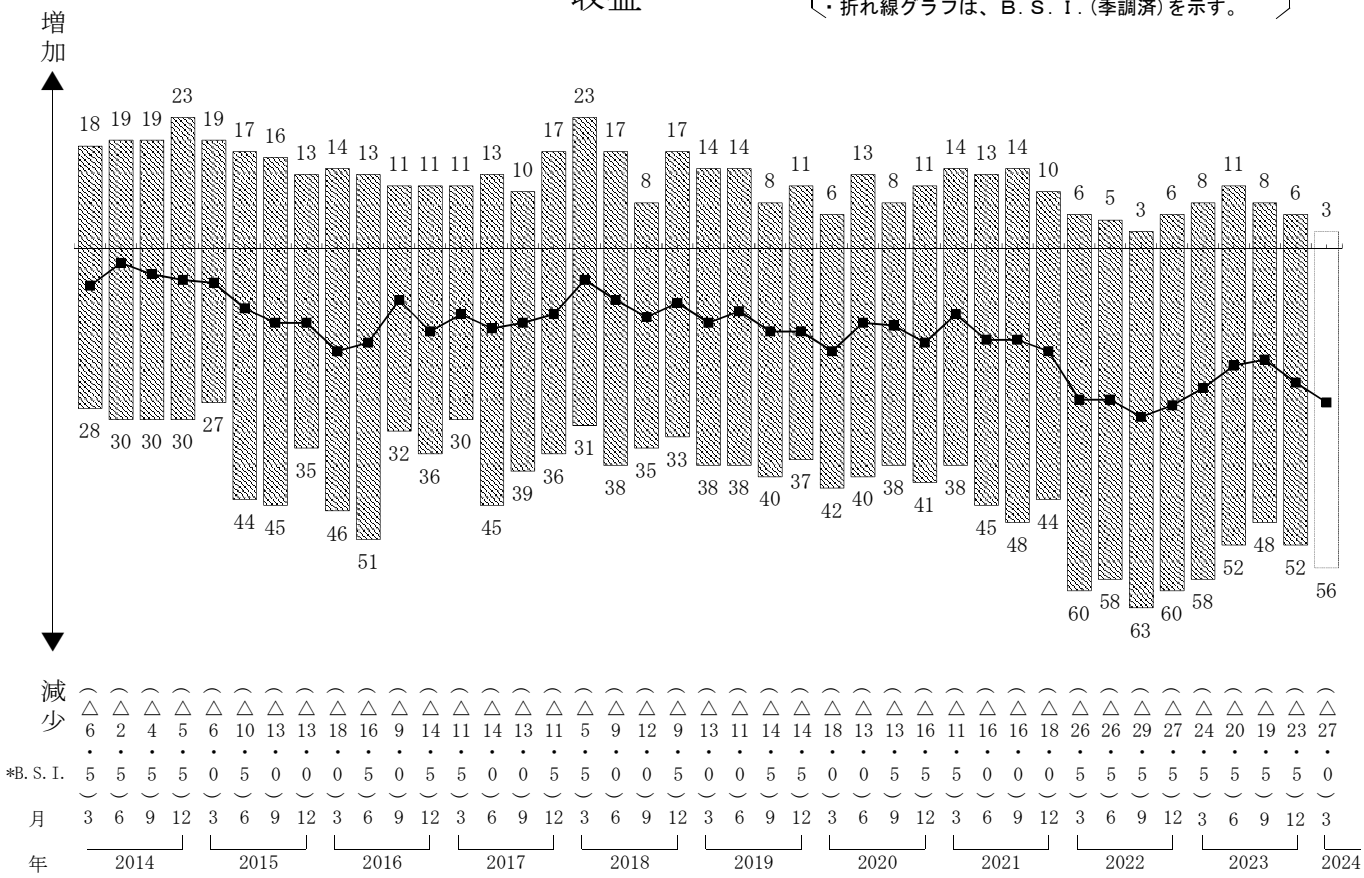


（７）収益

岩手

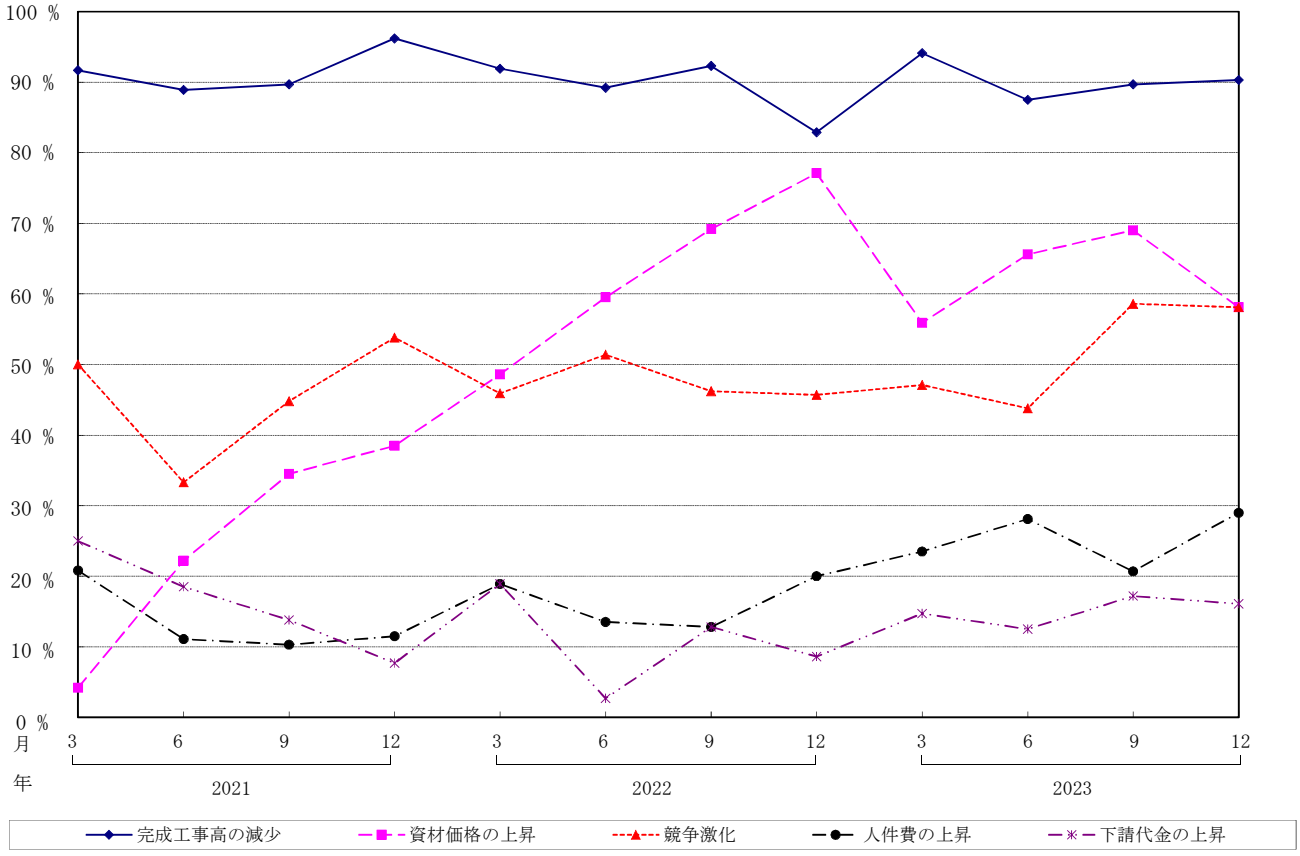
収益

・棒グラフは、回答企業の構成比（%）を示す。
・折れ線グラフは、Ｂ．Ｓ．Ｉ．（季調済）を示す。



岩手

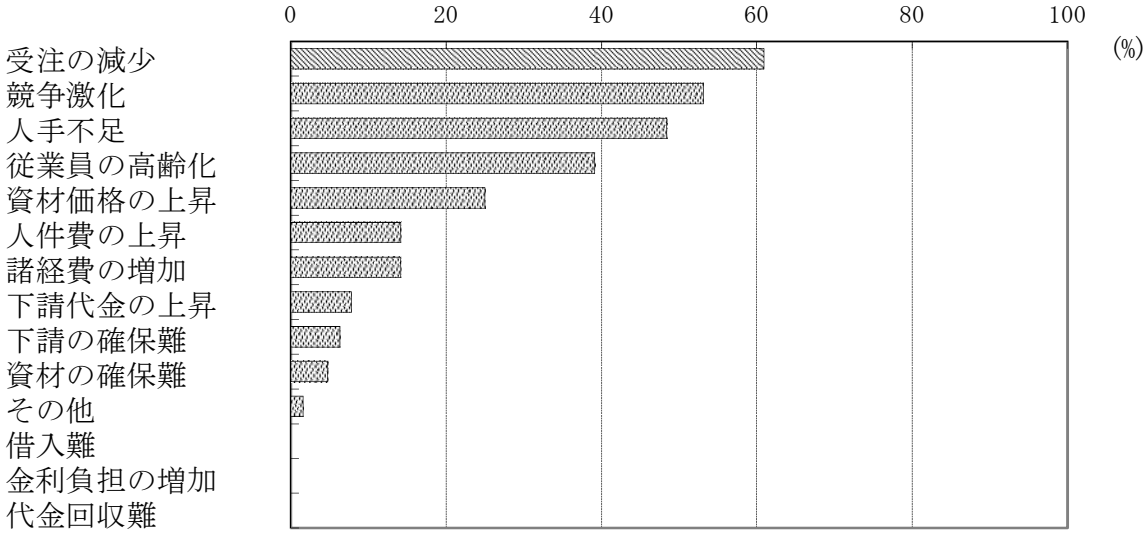
収益増加・減少の理由（減少）



（８）経営上の問題点

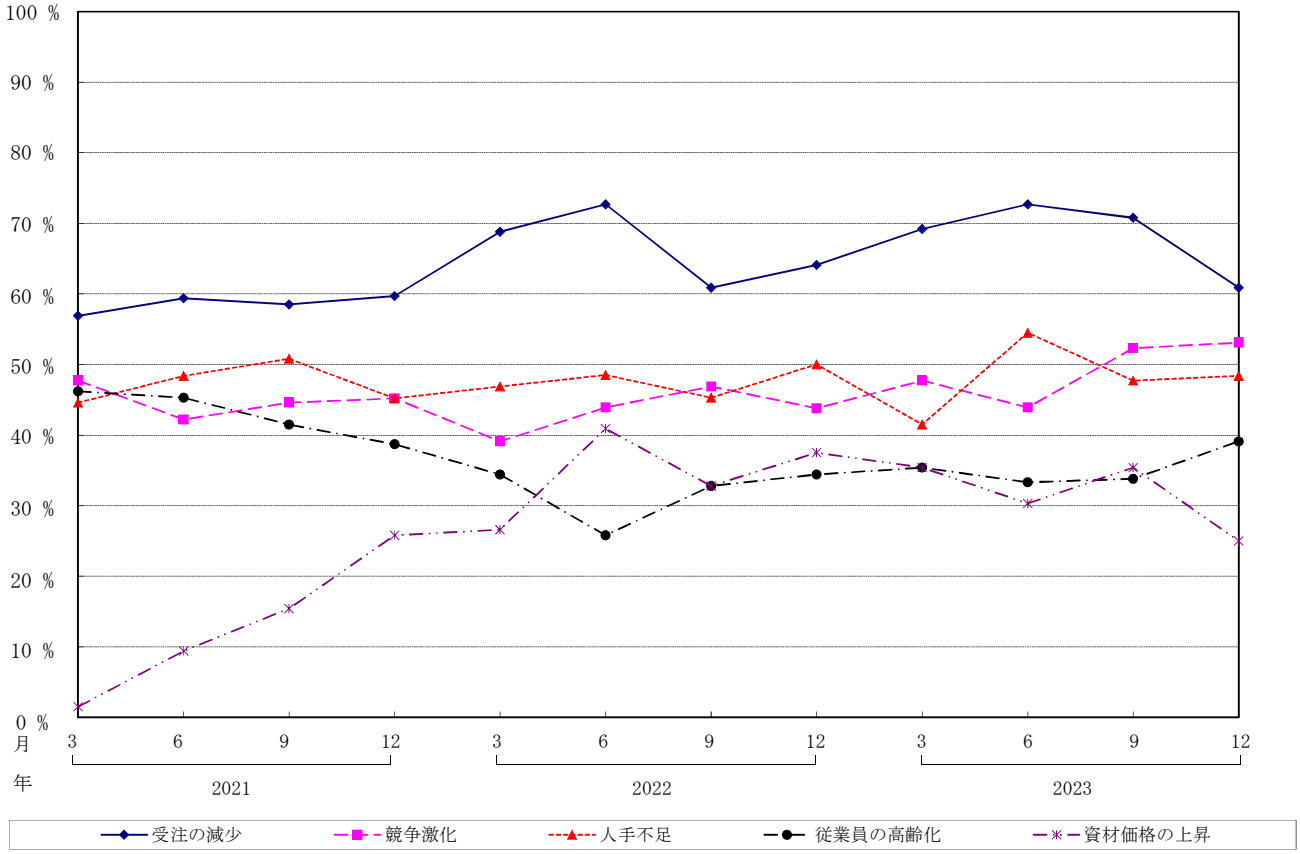
岩手

今期の経営上の問題点



岩手

経営上の問題点



2023年度第3回（2023年10～12月期） 建設業景況調査票 ＜提出用＞

＜記入上のお願い＞ご回答は、回答欄に番号でご記入ください。（番号以外のもの（斜線など）は、ご記入なさらないようにお願いします。）
あてはまらない項目や、不明な項目は空白でけっこうです。（※本アンケート調査は、建設業景況調査結果にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。）

貴社ご担当者名	

Ⅰ 現況と見通しについておたずねします。〔現況（10～12月）・見通し（1～3月）〕

前期（23.7～9）に比べて → 現況は　今期（23.10～12）に比べて → 見通しは

1．業況等について

		現況は	見通しは
①貴社の業況	（1.良い 2.やや良い 3.変らず 4.やや悪い 5.悪い）		
②地元建設業界の景気	（1.良い 2.やや良い 3.変らず 4.やや悪い 5.悪い）		

2．工事受注について

		前期に比べて現況は	今期に比べて見通しは
③官公庁工事受注額	（1.増加 2.やや増加 3.変らず 4.やや減少 5.減少）		
④民間工事受注額	（1.増加 2.やや増加 3.変らず 4.やや減少 5.減少）		
⑤受注総額（③＋④）	（1.増加 2.やや増加 3.変らず 4.やや減少 5.減少）		

3．金融・資金繰りについて

		前期に比べて現況は	今期に比べて見通しは
⑥資金繰り	（1.容易 2.やや容易 3.変らず 4.やや厳しい 5.厳しい）		
⑦銀行等の貸出傾向	（1.容易 2.やや容易 3.変らず 4.やや厳しい 5.厳しい）		
⑧短期借入金	（1.増加 2.やや増加 3.変らず 4.やや減少 5.減少）		
⑨短期借入金利	（1.上昇 2.やや上昇 3.変らず 4.やや下降 5.下降）		

⑩実際の短期借入金利（10～12月に主力金融機関から運転資金として新規に借入した金利）
（1.「1％未満」 2.「1％台」 3.「2％台」 4.「3％台」 5.「4％台」 6.「5％台」 7.「6％台」 8.「7％台」 9.「8％以上」）　現況は

⑪支払手形の平均サイト（1.～90日 2.91～120日 3.121～150日 4.151～180日 5.181日～）

⑫受取手形の平均サイト（1.～90日 2.91～120日 3.121～150日 4.151～180日 5.181日～）

4．資材の動向について

		前期に比べて現況は	今期に比べて見通しは
⑬資材の調達	（1.容易 2.やや容易 3.変らず 4.やや困難 5.困難）		
⑭資材価格	（1.上昇 2.やや上昇 3.変らず 4.やや下降 5.下降）		

⑮資材の調達・価格について、下記項目に該当するものがあれば各々3つ以内選んでください。

		現況は		
調達が	困難なもの			
	容易なもの			
価格が	上昇したもの			
	下降したもの			

11.生コン・セメント　12.砂利・砕石・砂
13.コンクリート二次製品　14.棒鋼　15.形鋼・厚板
16.鋼矢板・鋼管　17.木材　18.合板
19.アスファルト合材　20.塩ビ管　21.電材
22.その他（　　）

5．労務の動向について

		前期に比べて現況は	今期に比べて見通しは
⑯建設労働者の確保	（1.容易 2.やや容易 3.変らず 4.やや困難 5.困難）		
⑰建設労働者の賃金	（1.上昇 2.やや上昇 3.変らず 4.やや下降 5.下降）		

⑱建設労働者の確保・賃金について、下記項目に該当するものがあれば各々3つ以内選んでください。

		現況は		
確保が	困難な職種			
	容易な職種			
賃金が	上昇した職種			
	下降した職種			

11.軽作業員　12.普通作業員　13.特殊作業員
14.石工・ブロック工　15.とび工　16.鉄筋工
17.一般運転手　18.特殊運転手　19.型枠工
20.大工　21.左官　22.電工
23.配管工　24.その他（　　）

6．収益について

		前期に比べて現況は	今期に比べて見通しは
⑲収益	（1.増加 2.やや増加 3.変らず 4.やや減少 5.減少）		

上記⑲（現況）で「1.増加」「2.やや増加」とお答えになった主な理由を3つ以内選んでください。

11.完成工事高の増加　12.発注単価の上昇
13.下請代金の低下　14.資材価格の低下
15.金利負担の減少　16.諸経費の減少
17.施工の合理化　18.天候条件（良）
19.技術革新（機械化・ロボット化・新工法の導入等）
20.その他（　　）

増加理由は

上記⑲（現況）で「4.やや減少」「5.減少」とお答えになった主な理由を3つ以内選んでください。

11.完成工事高の減少　12.発注単価の低下
13.人件費の上昇　14.下請代金の上昇
15.資材価格の上昇　16.金利負担の増加
17.諸経費の増加　18.競争激化
19.天候条件（不良）
20.その他（　　）

減少理由は

Ⅱ 現在直面している経営上の問題を上位から3つ以内選んでください。

11.受注の減少　12.競争激化　13.人手不足（技能・技術者含む）　14.従業員の高齢化
15.人件費の上昇　16.下請の確保難　17.下請代金（外注費）の上昇　18.資材の確保難
19.資材価格の上昇　20.諸経費の増加　21.借入難　22.金利負担の増加
23.代金回収難　24.その他（　　）

問題点

ご協力ありがとうございました。
本調査結果につきましては、後日ご報告させていただきます。

北海道建設業信用保証株式会社
東日本建設業保証株式会社
西日本建設業保証株式会社

東 日 本 建 設 業 保 証 株 式 会 社
岩　手　支　店

〒020-0873　盛岡市松尾町17-9　岩手県建設会館2階
TEL 019(624)4480　FAX 0120(027)216

本　　社
〒104-8438　東京都中央区八丁堀2-27-10
TEL 03(3552)7528㈹
https://www.ejcs.co.jp